

新規加入 ご紹介!!

三重ライオンズクラブ



1963年(昭和38年)に“知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する”を誓いに結成され、現在会員50名・家族会員を含め70名を超える奉仕団体です。

本年度は、「皆で助けよう縁(えにし)の輪 We Serve」をモットーに、クラブの継続事業としてライオンズ旗(カップ)争奪少年剣道、柔道、野球、サッカー大会などの青少年健全育成事業、毎月2回以上の献血推進活動、アイ・腎バンクや三重総合高校レオクラブへの活動助成、交通安全街頭指導、国道ゴミ拾い活動などコロナ禍ではありますが精神的に奉仕活動を展開しています。

三重ライオンズクラブ 会長 後藤 政義



下会(しもかい)

2011年5月に高齢化していく地区の協働作業軽減の一助になればと立ち上げた下会も11年目を迎えました。多い時は年間7種も活動してましたが、今はコロナの影響もあり明るい話題の提供で、案山子や地区の方達の手作り作品の展示と氏神様への七五三縄奉納が主体です。

地区の方達の多方面にわたるご支援と散歩される方達の声援で頑張っています。助けられ助けられ、助けて助けられ、今、自分達にできる事で応えるだけです。

下会 代表 赤嶺 正士



しげまさ子ども食堂

「地域の子どもや子育て家庭を応援したい!」と2016年から活動を始めて6年目になります。月に2回の子ども食堂(第2・4土曜日夕方)、週2回の無料学習支援(毎週水・金曜日夕方)を定期的に行いながら、地域の子どもや大人と一緒にプレゼンテーション・舞台パフォーマンスの練習を行い、エイトピアで発表会を行う「しげまつり!地域がHOKORIプロジェクト」も毎年2月に開催しています。

この10月からは子どもたちが気軽に立ち寄れる「ぶんごおおのキラキラ広場」を地域につくろうとたくさんの地域の方と頑張っています。

しげまさ子ども食堂 代表 首藤義夫



三重



第48号

豊後大野市ボランティア連絡協議会ニュース

豊後大野市三重町玉田1128番地 / 豊後大野市社会福祉協議会内

発行日: 令和3年12月1日



一年半を通じて



私が会長に就任して、およそ一年半が過ぎました。この間、コロナの波が日本各地に押し寄せ、豊後大野市も例外ではありませんでした。それにより、ボランティアの活動はほとんどできない状態が続きました。夏が過ぎ秋を迎えると共に、ワクチン接種が功を奏したのか、コロナの波は急に引いていっています。ボランティア活動も、十分な感染対策や人員制限をしながら元の状態に近づいています。さて、広報紙ボランティアニュースは、前号から豊後大野市全戸に配布されています。ボランティア活動について、何か伝えたい方々の原稿募集をしています。あなたの一言が、明日のボランティア活動に勇気と活力を与えますよ。

豊後大野市ボランティア連絡協議会 会長 吉良 理郎

お知らせ



これまで『豊後大野市ボランティア連絡協議会ニュース』は、年3回(7・11・2月)班回覧で発行していましたが、令和3年度より年2回(7・12月)全戸配布で発行することになりました。

皆様お一人お一人のお手元に届き、時間の空いたときにでもゆっくり御覧になっていただければ、との思いからです。

これまで「地区の班回覧でチラッと見かけたことはあるけど・・・」という方の方が多いかもしれません。これを機会に是非お読み頂けると嬉しいです。そして“ボランティア”に少しでも興味や関心が芽生え、日常生活に何か張りが生まれれば・・・♡。

豊後大野市ボランティア連絡協議会 事務局 (豊後大野市社会福祉協議会 本部・三重) 0974-22-6677
(豊後大野市社会福祉協議会 清川支部) 0974-24-6770
(豊後大野市社会福祉協議会 緒方支部) 0974-42-2349
(豊後大野市社会福祉協議会 朝地支部) 0974-72-1002
(豊後大野市社会福祉協議会 大野支部) 0974-34-2071
(豊後大野市社会福祉協議会 千歳支部) 0974-37-3110
(豊後大野市社会福祉協議会 犬飼支部) 097-578-1737



豊後大野市ボランティア連絡協議会は、ボランティアの仲間作りと福祉のまちづくりのために活動する団体です。

●この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています

原稿募集

想いを記事にしてみませんか?

“ボランティア”って堅苦しく思わないでくださいね。花の水やりだったり、赤ちゃんと出会った時、つい「いないいないばあっ!」をしてしまったり…こんな日常の風景もボランティアに通じるものがあるように思います。手を差し伸べるものに想いを届ける。これがボランティアだとするなら、皆さんも知らず知らずのうちにやっていることではありませんか? そんな日常のどんな些細なことでも構いません。あなたが感じ・想う心の声を聞かせてください。この広報紙で紹介したいと思います。どうぞお気軽に連絡をいただくとありがたいです! 詳しくはお近くの社会福祉協議会にお電話でお尋ねください。お待ちしております。

(連絡先は表紙下に掲載)



「もしもし お元気ですか？」

大野

あなたも「もしもしお元気ですか活動」の支援者になりませんか
人生百年時代、あなた百までわたし九十九までの古語もありますが、色んな事情でひとり暮らしの方が多くなりました。

そこで大野町では、大野地区社会福祉協議会の事業として主に大野ぼたん桜の会のメンバーが関わり、「もしもし、お元気ですか」のキャッチフレーズで、平成25年より80歳以上のひとり暮らしの方に、電話を掛け話し相手をするボランティア活動をしています。

友人知人や家族が心配され、話し相手をすることにより不安解消や見守り活動へとつながっています。また、電話だけですので支援者と会って話したいなどの希望もあり、年1回「利用者と支援者の交流会」を行っています。大野地区社協 役員や社協職員の皆さんと一緒に、ゲームをしたり健康に関する話を聞いてふれあい、楽しいひとときを過ごして大変喜ばれています。

コロナ禍で外出が無理な昨今、電話をととても楽しみに待ってくださっています。

終わりに川柳を一句
「声掛けの電話ではずむ老1人」
大野ぼたん桜の会 首藤 豊子



朝倉文夫記念公園をきれいに

朝地

朝倉文夫記念公園ファンクラブ（会員47名）は、広い公園をきれいにするための環境整備やワークショップのお手伝い、美術館研修等を行っています。

10月2日は、他の2団体と一緒に総勢50名近くが参加して環境美化作業を行いました。広大な園内の草刈りや屋上庭園の草取り、池の流れの掃除等それぞれに分かれての作業。3時間近くでとてもきれいになりました。

私たちは、朝倉文夫の彫刻作品を見ていただきたいのはもちろんですが、豊後梅、桜、石楠花、つつじ、藤、蓮の花、どうだんつつじと四季折々の花が咲く公園も楽しんでいただきたいと思います。

また、コロナ感染症の影響で寄せ植えのワークショップ等が実施できませんでしたが、今後少しずつ活動が再開できたらと思っています。そして、朝倉文夫記念公園の良さを少しでも多くの人に伝えていきたいです。

朝倉文夫記念公園ファンクラブ 副会長 阿南美恵子



千歳町すみれ会

千歳

地域の高齢者や身障者に安否確認の配食サービスに、毎回千歳小学校の子供達の可愛い絵と手紙を添えて利用者から喜ばれています。

今回、1年生と2年生が丹精込めて育てた夏野菜(キュウリ・ナス・ピーマン・オクラ)を『お弁当の材料に使ってください』と7月8日の朝に元気な8名の代表者から頂きました。早速、会員が酢の物・天ぷら等に調理し、ボリュームいっぱいのお弁当にして、楽しみに待っている利用者の方々いつものお手紙と小学生の元気と優しさをいっぱい詰めたお弁当を届け、笑顔を見ることができました。子供達が作った野菜を会員が調理して利用者のもとへと繋いだ今回の活動は、コロナ禍の不安の中で改めて地域の繋がりの大切さを確認しました。

これからも自分も相手も笑顔になるような、地域ボランティアに努めてまいります。

千歳町ボランティア連絡協議会 会長 甲斐 民江



清川町ボランティア活動

清川

コロナも落ち着きが見え、日常生活に戻つつある今日このごろです。再びコロナの波が来ない事を切に切に願っています。

私達は今年もコロナ禍で、活動があまりできていませんが、5月に緒方のチューリップの球根掘りに行きました。11月にプランターに植え、駅や支所等に持っていき地域の皆さんに楽しんでいただきたいと思います。又、7月に社協清川支部の花壇の花植えをしました。猛暑が続き、2日ごとに当番を決め水やりや草取りをしました。

清川町ボランティア連絡協議会に、協力していただける方がいらっしゃれば社協に声をかけて下さい。よろしくお願い致します。

清川町ボランティア連絡協議会 会長 戸次 ひさ子



馬場公会堂前花壇の整備

緒方

9月25日(土)に私達灯会がお弁当作りに使わせてもらっている馬場公会堂前の花壇の整備工事をしました。環境美化運動で花壇に花を植え、公会堂を利用される方や地区の皆様に見て頂く為毎年灯会会員皆で花を植えているのですが、地形上植える時、水やりの時等土が流れ出てしまい困ってしまいました。今回社協さんにご相談したところ赤い羽根共同募金事業からご協力下さるとの事で整備出来る事となりました。当日早朝より馬場区長、副区長、会計のお三方、工事関係の方達に協力して頂きました。土止め工事に加え花壇の上に伸びている桜の木の枝、茂った植木の枝葉等も切ったお陰でスッキリと明るい花壇にと生まれ変わりました。これから春に向け美しく可愛い花々でいっぱいになった花壇を思い浮かべながら近い内に灯会会員皆で花植えをしたいと思っております。

馬場灯会グループ長 三代 宏子



私の思い

犬飼

最近はサロンや女性学級、ボランティア活動など、いろいろな集まりに出かけます。自分自身の生活の変化などもあって、10年位疎遠になっていました。

以前は福祉活動の担い手は、気配りやお世話の上手な女性の方が圧倒的に多かったように思います。今ではいろんな活動の場所で男性の姿を目にします。私が参加している地域のサロンでもお世話する、されるの区別なく、出席者がリーダーさんをサポートして和やかに開催されています。

これからの課題は、子育て世代の活躍です。それには活動できる環境を整えることが大事です。仲間が増えることを期待しています。

犬飼町ボランティア連絡協議会 後藤 ナナ子



●ボランティアは できる人が できるときに できることを!